

平成24年度事業報告に関する件

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

全 体 概 要

I 概 要

当ビューローは、平成19年度に平安建都1200年記念協会と京都コンベンションビューローが統合し、財団法人として発足した。そして平成23年10月に現在の公益財団法人として誕生している。そのため、平成24年度は、当ビューローにとって、公益財団法人として1年を通じて事業執行を行った初めての年度となった。

同時に、年度当初に外客誘致を新たな業務内容に加え、ビューロー全体の体制も大きく拡充し、加えて人事異動等もあり、メンバーの半数以上が入れ替わるなど、新生ビューローといえるほどの大きな変革となった。

また、平成24年度は、日本経済にとっても大きな転換点であった。昨年12月の総選挙前後より新政権への期待感から、景況が改善。その後、急激な円高も是正されつつあり、株高も、やや乱高下もあるが顕著となっている。

こうした中、平成24年度は当ビューローにとって、非常に大きな成果を達成した年になった。

まずは、古典の日の法制化の実現である。平成21年度から精力的に要望を行ってきた法制化が、昨年9月に実現した。今後は古典の日の更なる普及を目指していく段階に入ったといえる。

そして、平成24年(暦年)はコンベンションの開催にとっても、特筆すべき年になった。これまで国際会議の開催状況は件数では平成19年、参加者数では平成22年が過去最高であり、京都での開催はいわば右肩下がりの傾向にあったが、昨年は件数、参加者数ともに過去最高となった。この要因としては、大型会議の誘致は数年前から準備を行っており、これまでの数年にわたる努力と、中・小規模の会議にも、きめ細かく対応できる体制を整えてきたことなどが功を奏したのではないかと考えている。

また、平成24年度から取組を始めた当ビューローの存在感を高めていく「プレゼンスアップ」は当初の予想を上回る成果を上げることができ、相当程度社会的認知度が高まったと認識をしている。

主な重点施策の実施概要は次のとおりである。

Ⅱ 重点施策別

1 プレゼンスアップの推進

当ビューローの前身となる平安建都1200年記念協会は昭和60年に設立され、一方のコンベンション誘致の前身となる京都コンベンション推進協議会は更に古く昭和57年の設立である。こうした大変長い歴史を持ち、大きな実績を上げてきた法人であるが、これまで関連業界内では一定の認知度を持ちながらも、広く社会的にはそれほど知名度は高いとはいえない状況にあった。

そのため、当ビューローの業務内容を高めていくためには、業務実態の拡充と併せて、社会的認知度を高めていくことが同時に必要と考え、平成24年度からその存在感を高める、プレゼンスアップに取り組んできたところである。結果は別添資料の通り、少なからず高まりつつあると推測しており、加えて賛助会員の増加にも好影響を与えてきている。

2 MICEの推進

まず、MICEの「C」であるコンベンション（国際会議）の開催件数が、4年振りに過去最高を更新した。平成19年度に国において観光立国が宣言され、MICEがその主要な政策の一つに掲げられ、京都においても取組を強化してきた成果が表れてきたと考えている。

これまでMICEについて、「C」と「E」のエキシビジョン（展示会等）については京都においても積極的にその誘致に力を入れてきた経過はあるが、「M」のミーティング（企業の会議、研修旅行等）と「I」のインセンティブ（優待、報奨旅行等）の誘致対策は今後の大きな成長分野である。そのため、平成24年度には、新たな取り組みとして、外資系企業の担当者を招待する機会を設け、説明会や商談会を開催、参加者から好評を得るとともに、具体的な商談にまで進んできている。

3 インバウンドの推進

平成24年度から、これまで京都市において事務局を担当し、海外プロモーションや受入れ環境の整備等を行ってきた「京都国際観光客誘致推進協議会」を当ビューローに統合し、合わせて関連業務・予算等の移管を京都市から受けた。そのため、これまでのコンベンションの誘致業務に加えて、海外からの誘客全般を担当することになり、MICEの推進と合わせ、より効率的、効果的に国際観光を担っていくこととなった。

平成24年度は世界8ヶ国に設置している海外情報拠点での情報発信・収

集を行い、積極的にプロモーション、そして招聘に努めるとともに、海外の有カメディアや観光関連団体等に京都関係の記事掲載を進めた。また、facebookで「いいね！」をクリックした人が国内最高となる10万人を超えた。

4 京都迎賓館支援の推進

平成17年に開館した京都迎賓館をより多くの皆様に知っていただくために、東京で大型のシンポジウムを開催し、我が国の伝統文化の粋を極めた京都迎賓館を広く発信した。

また、地元主催事業として在京大使招聘事業を開催し、併せて京都迎賓館内で歓迎食事会を催すなど、地元利用がより一層促進されたと考えている。

5 古典の日の推進

次章に詳述

部 門 別 概 要

I 文化交流発信事業（公益目的事業）

1 古典の日推進事業

（1）「古典の日」の法制化

古典の日推進委員会設置以来の大きな目標であった「古典の日」の法制化が、委員会の4年間にわたる活動の結果、国会の全会一致による「古典の日に関する法律」制定という形で実現した。

①全国賛同署名集め（平成22年夏から）

平成23年11月1日10万人達成（最終：平成24年6月 11万93人）

②国会への要望と法案成立

平成23年 9月 正副会長会議で法制化のための活動方針確認

平成23年11月 正副会長、超党派の有力国会議員約10名に要望活動

平成24年 3月 「古典の日」推進議員連盟発足（会長 福田康夫元総理）

平成24年4～5月 議員連盟による勉強会・法案策定会議等

平成24年 8月 衆議院文部科学委員会が「古典の日に関する法律案」策定、衆参両院で審議・可決（全会一致）

平成24年9月5日 「古典の日に関する法律」公布・施行

（2）「古典の日」普及・定着のための事業

① 古典の日推進フォーラム2012

日 時：平成24年11月1日（木）13：30～16：30

場 所：国立京都国際会館

参加者：2,000名参加（応募6,299名）

主 催：古典の日推進委員会

共 催：NHK京都放送局 特別協賛：京都仏教会

（演目等）

筑前琵琶「那須與市」 田中旭泉ほか

よびかけ人あいさつ 千玄室 瀬戸内寂聴

主催者あいさつ 村田純一会長

来賓あいさつ 近藤誠一文化庁長官

法律制定報告 芳賀徹 国際日文研名誉教授

朗読コンテスト表彰式 審査委員長新井満ほか

講演「生きている古典」 作家 五木寛之
半能「石橋 和合連獅子」 金剛永謹・金剛龍謹

② 古典の日推進フォーラム in 東京

日 時：平成24年12月4日（火）14：00～16：30

場 所：国立能楽堂（渋谷区千駄ヶ谷）

参加者：580名参加（応募4,667名）

主 催：古典の日推進委員会

後 援：読売新聞社 日本経済新聞社 NHK

協 賛：（独法）日本文化芸術振興会 京都仏教会
（演目等）

京舞 地唄「竹生島」 井上八千代

主催者あいさつ 村田純一会長

来賓あいさつ 近藤誠一文化庁長官

鈴木寛 「古典の日」推進議員連盟幹事長

「古典の日」宣言とトーク 中江有里（女優・脚本家）

よびかけ人リレートーク（「古典をいだき 古典に抱かれて」）

ドナルド・キーン／瀬戸内寂聴／芳賀 徹

舞囃子「高砂 八段之舞」 観世清和

③ 第4回「古典の日」記念朗読コンテスト

課題作品：「方丈記」「平家物語」「伊勢物語」「竹取物語」

応 募 数：278（一般229 中学・高校49）

審査委員：特別顧問 芳賀徹 審査委員長 新井満（作家）

菊川徳之助、高橋清之、端田宏三、宮田圭子、三好仁

表 彰 式：「古典の日」推進フォーラム2013において各賞表彰、
大賞受賞者朗読

④ 街かど古典カフェ

Aコース 「源氏物語の色 ～春夏秋冬～」 吉岡幸雄（染織史家）

場 所：源氏ミュージアム（宇治市）6/5～6/26[4回]

受講者：45名（応募54名）

Bコース 「浮世絵を愉しもう」 狩野博幸（同志社大教授）

場 所：虎屋ギャラリー（京都市上京区）6/8～7/27[4回]

受講者：30名（応募78名）

Cコース 「鴨長明の真実」 小林一彦（京都産業大教授）

場 所：下鴨神社直会殿（京都市左京区）7/5～7/26[4回]

受講者：70名（応募100名）

⑤ 街かど古典カフェ特別講座「能の世界をあなたに」

金剛能楽堂開館10周年記念事業として（公財）金剛能楽堂財団と共催

日時：平成25年3月10日（日）13：00～16：30

場所：金剛能楽堂（京都市上京区）参加者436名（応募762名）

特別協力：文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室

（演目等）

- ・能楽師によるワークショップ
能面体験 舞台体験 装束展示 貴重DVD上映
- ・鼎談 「能の見方、楽しみ方」
金剛永謹（金剛流二十六世宗家） 金剛龍謹（同若宗家）
天野文夫（阪大名誉教授・文化庁関西元気文化圏推進・連携室長）
- ・能鑑賞 「世阿弥 精選五番～高砂 清経 井筒 班女 野守～」

⑥ 「語り部派遣」

- 京都府山城教育局 「やましろ未来っ子読書大好き！フェスタ」

日時：平成24年11月18日（日） 場所：久御山町中央公民館

参加：450人（児童・保護者・教育関係者等）

朗読サークル「ごんぎつね」による古典文学（枕草子、平家物語）朗読

- 京都府立学校PTA指導者研修会

日時：平成24年11月30日（金） 場所：京都府総合教育センター

参加：202人（PTA会員、教職員）

女優山下智子による「源氏物語 花の宴」（京ことば・現代語）と講演

⑦ その他広報活動等

- シンボルキャラクターマーク・ロゴ等の使用許可 47件
- 後援、共催名義の付与 34件
- ホームページ開設 年間アクセス数 PC12万人 携帯7千人
- ポスター のぼり簾 デジタル掲示板 懸垂幕 横断幕
- 雑誌広告 「ひととき」「旅のアトリエ」「あぜくら」
- クリアファイルの作成・配布

2 京都迎賓館支援事業

(1) 京都迎賓館でもてなした外国賓客

計12件

- ① ブルガリア共和国国民議会議長夫妻一行 平成24年4月13～14日
- ② ミャンマー連邦共和国民族代表院議長一行 5月7日～8日
- ③ タンザニア連合共和国国民議会議長一行 5月14日～16日
- ④ ベルギー王国皇太子一行 6月15日
- ⑤ スロバキア共和国大統領夫妻一行 6月29～30日
- ⑥ ナイジェリア連邦共和国国民議会下院議長一行 10月25～26日
- ⑦ キルギス共和国大統領夫妻一行 平成25年2月28日～3月1日
- ⑧ スロベニア共和国大統領一行 3月8日
- ⑨ 在京7カ国大使 3月14日
(ルクセンブルク大公国、カタール国、スイス連邦、コートジボアール共和国、ウズベキスタン共和国、ザンビア共和国、バングラデシュ人民共和国)
- ⑩ バーレーン王国皇太子一行 3月19～20日
- ⑪ コートジボアール共和国国民議会議長一行 3月22日～24日
- ⑫ オランダ王国最高裁判所長官夫妻 3月29～31日

<過去の接遇件数>

年 度	18	19	20	21	22	23
接遇件数	8	11	15	9	10	10

(2) もてなし・しつらいプロデュース事業

京都迎賓館における賓客接遇等の際、しつらいの一つとして活用するいけばな文化の継承・発展のためいけばな協会への支援を行った。

また、迎賓館に賓客接遇に際して美術品しつらいデータベースを活用した。

(3) 京都迎賓館一般参観支援事業

ア 期 間：平成24年8月23日（水）～ 9月1日（土）

イ 参観者：11,481名 ※別途8月22日に地元向け特別参観実施（参加961名）

ウ 支援事業

(ア) ボランティアの紹介

京都文化振興友の会及び京都市文化ボランティアから、京都迎賓館一般参観運営スタッフとしてボランティアを募集し、94名を派遣した。

(イ) 生け花のしつらい

場所：正面玄関、聚樂の間、藤の間前 提供：京都いけばな協会

(ウ) リーフレットの提供

京都迎賓館の伝統技能を紹介したリーフレットを13,000部作成・提供

(工) 京都観光情報の提供

- ・ 京都御苑地図を8,100部作成し参観者に配布した。
- ・ 参観者に京都観光情報（近隣観光スポット・飲食店・交通案内等）を提供

(才) 宇治茶の提供（有料） 提供：京都府茶協同組合

(4) 京都迎賓館視察研修の実施

ア 開催日：平成25年2月20日（水）～22日（金）、25日（月）

イ 会場：①講演の部 国立京都国際会館 ②視察の部 京都迎賓館

ウ 参観者 京都府内の大学で芸術を学ぶ学生・若手の技能技術後継者など

エ 概要

①講演会（2月20日）

- ・ 関係映像視聴 「京都迎賓館に生きる伝統技能」（DVD）

- ・ 基調講演 テーマ「京都迎賓館について」

講師：中村昌生（京都工芸繊維大学名誉教授）

②視察研修（2月21～22日、25日）

京都迎賓館を1グループ25名程度、1日5グループ視察

視察時間は約1時間15分

オ 実績

- ・ 申込者 346名
- ・ 講演会参加者 309名
- ・ 視察研修参加者 302名

(5) 京都迎賓館記念シンポジウムの開催

ア 開催日：平成25年2月10日（日）

イ 会場：（東京）六本木アカデミーヒルズ タワーホール

ウ 参加者：500名

エ 概要

◇文化披露

芸舞妓による舞踊披露（宮川町歌舞会）

◇基調講演

テーマ 「京都迎賓館にみる現代和風の極み」

講師 中村昌生（京都工芸繊維大学名誉教授）

◇パネルディスカッション

テーマ 「京都にいきるおもてなしの技と心」

パネリスト 千田堅吉 （唐長11代目）

高橋英一 （瓢亭14代目）

西村明美 （柊家旅館女将）

コーディネーター 中村昌生 （京都工芸繊維大学 名誉教授）



3 京都創生推進フォーラム事業

(1) 運営委員会・連絡会の開催

① 第10回運営委員会

- ア 日 時：平成24年5月2日（火）午後2時～3時30分
イ 場 所：京都商工会議所 役員室
ウ 議 事：平成23年度の活動について（報告）
平成24年度の活動について（提案）
各運営団体の京都創生に関する取組について（情報交換）

② 第11回連絡会

- ア 日 時：平成24年6月22日（金）午前10時～11時30分
イ 場 所：京都商工会議所 2F 第1会議室
ウ 議 事：平成24年度連携支援事業の審査について
京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」について

③ 第12回連絡会

- ア 日 時：平成24年8月1日（水）午後4時～午後5時
イ 場 所：京都商工会議所 2F 第1会議室
ウ 議 事：8月8日シンポジウムの運営について

(2) シンポジウムの開催

- ア 日 時：平成24年8月8日（水） 午後1時30分～4時
イ 会 場：金剛能楽堂
ウ 参加者：420人
エ プログラム

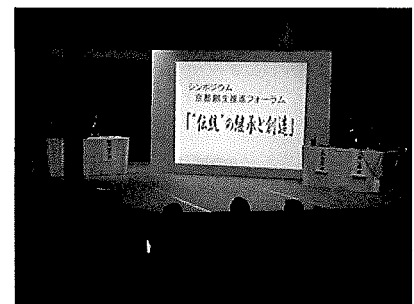
- ・文化披露 舞囃子「安宅」 金剛流宗家 金剛永謹氏ほか
- ・挨拶：立石義雄（京都創生推進フォーラム代表・京都商工会議所会頭）
門川大作（京都市長）
- ・報告：「京都創生の取組」 西野博之（京都市京都創生推進部長）
- ・パネルディスカッション
「”伝統“の承継と創造」

パネリスト 天野文雄（文化庁関西元京都
市文化圏推進・連携支援
室長）

下出祐太郎（下出蒔絵司所、
京都美術工芸大学教授）

杉本節子（（公財）奈良屋記

念杉本家保存会常務理事兼事務局長、料理研究家、随筆
家）



小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授）

（３）京都創生連続セミナーの開催

① 第18回セミナー

ア 日 時：平成24年12月8日（土） 午後2時 ～ 4時

イ 会 場：キャンパスプラザ京都 第1講義室

ウ 参加者：250人

エ テーマ：「茶の湯釜の歴史と鑑賞—瀟洒の美、朽ちの美—」

オ 講 師：大西清右衛門氏（釜師・大西家一六代当主）

② 第19回セミナー

ア 日 時：平成25年1月19日（土）午後2時 ～ 4時

イ 会 場：小倉百人一首殿堂 時雨殿 大広間

ウ 参加者：260人

エ テーマ：「書のある暮らし」

オ 講 師：杭迫柏樹氏（書家）

（４）京都創生PRの実施

① 京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」

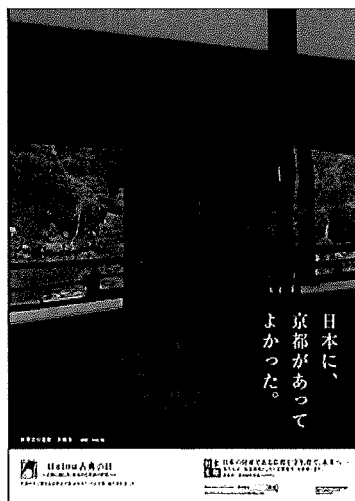
発行時期：第19弾 平成24年10月12日（金）

：第20弾 平成25年 3月19日（火）

仕 様：B1判・B2判・B3判・B3ワイド判

発行部数：4,700部

配 布 先：全ての市バス・地下鉄の車両、地下鉄全駅、市内のJR／私鉄駅、市内主要金融機関、市内郵便局、市関連施設、市内主要ホテル、市内の大学構内、首都圏の主要旅行代理店、京都に修学旅行を予定する全国の小中学校・高校、「京あるき in 東京」の参画企業店舗など



第19弾



第20弾

② 広報誌「京都創生」第7号・第8号

発行時期：第7号：平成24年11月14日（水）

第8号：平成25年 3月 7日（木）

仕様：A4版4頁 スミ一色

発行部数：8、500部

配布先：京都創生推進フォーラム会員・京都府及び京都市関係機関・運営団体等

(5) 連携支援事業の実施

フォーラム会員（運営団体を除く）に対して、京都創生の趣旨に沿った事業を募集し、以下の4事業を対象事業として選定。

対象事業にはフォーラムとの共催事業として、京都創生のロゴの使用や京都創生パンフレットの配布等を義務付けたほか、広報支援や事業費負担（事業費の1/2、30万円以内）を行った。

① 建築と子供たち2012 子供たちがつくる「光るタワー」

ア 開催日：平成24年8月3日（金）、4日（土）

イ 会場：元立誠小学校、高瀬川（三条山崎橋～元立誠小学校）

ウ 参加者：21名

エ 主催者：（社）日本建築協会 京都地域会

オ 概要：子供たちが、京都タワーや五重塔など身近な建築を通して京都の町並みを考えながら自分の塔を設計・製作し、完成作品を高瀬川に展示した。

② 京都駅ビル開業15周年記念「京都駅ビル薪能」

ア 開催日：平成24年9月1日（土）

イ 会場：京都駅ビル4階室町小路広場

ウ 参加者：1,200人

エ 主催者：京都駅ビル開発株式会社

オ 概要：シテ片山九郎衛門による祝舞「黎明」能「船弁慶」披露

③ 講演会と京都創生学習ウォーク

○ 展覧会「八重の桜」と京町家

ア 期間：平成25年1月25日（金）～1月29日（火）

イ 会場：ひと・まち交流館 京都

ウ 参加者：300名

エ 概要：京町家や新島八重に関連した文書や写真を展示

○ 講演会「京町家に80年暮らして」、京町家ウォーク

ア 開催日：平成25年1月26日（土）

イ 会場：ひと・まち交流館 京都

ウ 参加者：100名

エ 概 要：京町家の成り立ちについての講義と、宮川町や七条新地に残る町家の見学会を実施

○講演会 八重の桜「新島八重・覚馬と新島襄」、ゆかりの地ウォーク

ア 開催日：平成25年2月23日（土）

イ 会 場：ひと・まち交流館 京都

ウ 参加者：70名

エ 概 要：新島八重、襄や山本覚馬の功績等についての講義と同志社大学や新島旧邸、女紅場跡などゆかりの地の見学会を実施

主催者：京町家保存会新撰組記念館

④ 京都・嵯峨鳥居本再創造PJ

ア 期 間：平成24年8月～平成25年3月

イ 会 場：嵯峨鳥居本地域一帯

ウ 参加者：20名（イベント参加者数）

エ 主催者：嵯峨野保勝会

オ 概 要：まち歩きイベントのほか、地元住民を対象に聞き取り調査を実施。調査結果をもとに地域の歴史・文化についてのカードを作成・配布するとともに、ウェブサイトで広く発信。

(6) 京都創生 PR 事業「京あるき in 東京2013～恋する京都ウィークス～」の実施

京都市・京都商工会議所・京都市観光協会とともに、第3回目となる「京あるき in 東京」を実施した。

① 概 要 京都ゆかりの企業・大学・団体の参画のもと、首都圏で京都の魅力を発信する催しを集中的に実施。

② 期 間 平成25年2月4日（月）～2月20日（水）17日間

③ 事業数 90（前回：76）

④ 参画企業、大学、団体数
165（前回：134）

⑤ 京都創生推進フォーラムの活動内容

- ・「国家戦略としての京都創生」のPRパネル展示
- ・京都創生パンフレットの配布
- ・「京あるき in 東京」との広報と連携した、JR東日本主要駅（新宿、東京、品川等）等での京都創生PRポスターの掲出 他

(7) 京都創生推進フォーラムホームページによる情報発信

各会員の活動情報を閲覧・掲載できるほか、新規会員の登録もホームページ上で行うことができる。

トピックスではシンポジウム、セミナーの内容を伝えるとともに、今後の開催案内などの活動情報も随時掲載。

また、一般にも京都創生推進フォーラムの活動等を広く紹介するため、広報誌やポスターなどの広報物を紹介。

※ 平成24年度年間ホームページアクセス件数 21,873件
月別HPアクセス件数

月	件数
4月	1,417
5月	1,874
6月	1,724
7月	1,612
8月	1,635
9月	1,502
10月	1,704
11月	1,765
12月	1,937
1月	2,222
2月	2,020
3月	2,461
合計	21,873

(8) 創生フォーラム会員管理

会員数	企業・団体	個人	合計
期首	415	240	655
減少	4	8	12
増加	14	56	70
期末	425	288	713

入会は、ホームページやフォーラムへの参加を通じて行う、退会は、本人死亡や事務所閉鎖等による。

4 京都デジタルミュージアム「京都見聞録」の貸出

京都の文化・伝統及び自然の魅力等をハイビジョン映像で保存し、後世に継承するための「京都見聞録」(DVD)を貸し出し、京都の魅力、文化発信を広く発信した。(貸出件数：27件)

5 情報紙「四季彩京都」の発行

ア 発行回数：年2回

イ 部数：春・夏号 60,000部

秋・冬号 60,000部

ウ 内容：社寺・文化財特別公開情報、京都観光案内地図

Ⅱ 国際観光コンベンション事業（公益目的事業）

1 コンベンション(MICE)事業

(1) プロモーション事業

都市間競争が激化する中、いち早く有効な情報を入手するため、内外でのトレードショーへの出展や、関係団体等と連携したプロモーション活動により、MICE 開催地としての京都の存在を広く PR するとともに、的確な情報発信と情報入手ができる有効なネットワークの形成を行い、コンサルティング、サポートを行った。

① 海外プロモーション活動

開催地の決定やその運営について決定権を持つ国際本部やミーティング・プランナーなどに京都をプロモーションするため、海外の代表的なトレードショーに出展するとともに、継続的なフォローアップを行った。

また、対外的な効果を上げるため、東京(東京コンベンション・ビジターズ・ビューロー)と連携したプロモーション活動を行うとともに、観光庁・国際観光振興機構(JNTO/日本政府観光局)と連携、日本を代表する MICE 開催都市として活動した。

[IMEX2012 出展]

VJC(ビジット・ジャパン・キャンペーン)事業として IMEX (The World Wide Exhibition for Incentive Travel, Meetings and Events)に出展した観光庁ジャパンブースに出展。

開催期間：平成 24 年 5 月 22 日～24 日

開催場所：ドイツ・フランクフルト

規 模：出展者数 157 カ国、3,500 団体・企業

参加者数 8,782 名 ホステッド・バイヤー(招待客)3,959 名

[AIBTM2012 出展]

IMEX Americaと並んで北米 2 大 MICE 見本市としてその地位を確立している AIBTM(Americas Incentive Business Travel & Meetings)に出展。

IMEX America に比べ北米のバイヤーが多く、「C (コンベンション)」に強い特徴を持つ。

開催期間：平成 24 年 6 月 12 日～14 日

開催場所：米国・ボルティモア

規 模：出展者数 194 団体・企業

参加者数 2,250 名 ホステッド・バイヤー(招待客)777 名

[IMEX-America2012 出展]

VJC(ビジット・ジャパン・キャンペーン)事業として IMEX America (America's Worldwide Exhibition for Incentive Travel, Meetings & Events)に出展。

開催期間：平成24年10月9日～11日

開催場所：米国・ラスベガス

規模：出展者数 148カ国、2,413団体・企業

参加者数 4,143名 ホステッド・バイヤー(招待客)2,400名

② 国内プロモーション活動

首都圏及び京都を中心に、MICE 主催者やその委託事業者に対して、京都開催の魅力についての的確なコンサルティング、アドバイスに努めるとともに、MICE 開催情報の収集、京都についての情報提供を行った。

[IME2012 出展]

我が国唯一の MICE トレードショー「第22回国際ミーティング・エキスポ IME2012)」に出展。東京(首都圏)マーケットに直接的なプロモーションを行った。

開催期間：平成24年12月11日～12日

開催場所：東京国際フォーラム

規模：来場者数 3,225名 出展者数 120団体・企業

京都ブース構成団体

京都文化交流コンベンションビューロー、国立京都国際会館

京都テルサ、みやこめっせ、京都リサーチパーク、けいはんなプラザ

東映太秦映画村、ザ・ソウドウ・ヒガシヤマ・京都、京都国際ホテル

③ MICE 主催者等の京都視察受入れ

京都で開催を検討されている MICE 主催者などの京都視察を国内外から受け入れ、京都の魅力や具体的な開催についての提案を行った。

[在日米国商工会議所(ACCJ)等京都 MICE FAM TRIP 事業]

グローバルに事業展開する約1,000社の会員組織を有する在日米国商工会議所(ACCJ)及び在日欧州商工会議所の会員企業の中から、企業ミーティングやインセンティブ・トラベルの担当者を京都に招聘し、MICE 開催地としての京都の特性を視察いただく FAM TRIP 事業を行った。

実施日時：平成25年3月5日～6日

招聘者：18企業21名

[Delta 航空日本(東京&京都)インセンティブ FAM TRIP 事業]

Delta 航空の協力を得て、同社の米国でのネットワークを活かし、有力なインセンティブ・プランナーを京都に招聘し、MICE 開催地としての京都の特性を視

察いただく FAM TRIP 事業を行った。

実施日時：平成 25 年 3 月 14 日～16 日

招 聘 者：5 企業 5 名

④ 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

京都市の制度である「京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金(誘致助成金)」を効果的に活用し、誘致を積極的に行うとともに、同制度適用申請並びに交付の取扱を行った。

(2) 開催支援事業

① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力

オール京都で誘致した政府関連特定会議の京都開催について、必要により実行委員会等に参加するとともに、地元主催レセプションや文化体験プログラム等の実施事務局業務を行うなど、地元としての支援活動を幅広く展開した。

[第 9 回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STS フォーラム)]

平成 24 年 10 月に開催された「第 9 回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STS フォーラム)」について、京都府・京都市・京都商工会議所と共同で同フォーラム支援実行委員会を組織し、開催支援を行った。

公開シンポジウム 平成 24 年 10 月 6 日 京都大学

歓迎レセプション 平成 24 年 10 月 8 日 平安神宮会館

京都エクスカージョン 平成 24 年 10 月 8・9 日 2 コース計 68 名参加

[世界遺産条約採択 40 周年記念最終会合]

平成 24 年 11 月に開催された「世界遺産条約採択 40 周年記念最終会合」について、京都府・京都市・京都商工会議所、及び宇治市・滋賀県・大津市、その他関係団体と共同で世界遺産条約採択 40 周年記念事業京都実行委員会を組織し、開催支援を行った。

シンポジウム等 平成 24 年 10 月 29 日 立命館大学

平成 24 年 11 月 3 日 黄檗宗萬福寺

平成 24 年 11 月 6 日 京都大学

歓迎レセプション 平成 24 年 11 月 6 日 ウェスティン都ホテル

世界遺産視察プログラム 平成 24 年 11 月 8 日 7 コース計 200 名参加

その他 ランチ・buffet 提供事業、魅力発信事業、東日本大震災復興支援事業、「未来につなぐ世界遺産 京都アピール」策定事業等

② 京都市大規模国際コンベンション開催支援助成金の活用

国際会議等の誘致につながる「京都市大規模国際コンベンション開催支援助成金制度」を効果的に活用するとともに、同制度適用申請並びに交付の取扱を行っ

た。

- ③ 京都市 MICE 開催支援事業「文化プログラム派遣制度」の活用
京都市からの補助金により本年度より創設した「文化プログラム派遣(提供)制度」を効果的に活用し、中小規模の MICE 案件の支援を行った。

利用件数：22 件 支援金額：5,376,630 円

- ④ オフサイト・レセプション等の企画・提案
開催地ならではのユニークな施設・会場(オフサイト・レセプション)の企画・提案を積極的に行った。

[オフサイト・レセプション会場(主な事例)]

- ・社寺(大覚寺、建仁寺、高台寺、東福寺、平安神宮、等)
- ・東映太秦映画村 ・ハウスウェディング施設 ・料亭
- ・コンサートホール ・テーマレストラン

- ⑤ 各種開催支援サービス制度の運用及び拡充

- (ア) 京都コンベンション・パス(地下鉄・市バス特別乗車券)の発行

利用件数：8 件 発行金額：14,189,000 円

- (イ) 京都コンベンション・フォトバンクの活用

利用件数：32 件

- (ロ) 公開シンポジウム等広報支援制度

利用件数：1 件 第 19 回国際質量分析会議・公開講座

- (ハ) 京都コンベンション・ウェブ・データ貸出制度

利用件数：8 件

- (ニ) 誘致プレゼンテーション用パワーポイント・データ貸出制度

利用件数：11 件

- (ホ) 京都開催 PR 用バナー貸出制度

利用件数：5 件

- (ヘ) プロモーション DVD・ビデオの貸出・提供

利用件数：14 件

- (コ) 会議開催準備資金の無利息融資

融資件数：1 件

- (ク) 各種広報印刷物等の提供

利用件数：165 件

京都観光案内地図(日英併記)	提供部数：51,001 部
おこしやす京の旅路(和文が 1 部)	提供部数：24,686 部
Kyoto Tourist Guide(英文が 1 部)	提供部数：17,006 部
京都案内リーフレット(英文 1 万 1 冊)	提供部数：6,960 部
その他 Kyoto Visitor's Guide	

② 統計調査・発行

国際会議統計「2011 京都で開催された国際会議」発行、及び 2012 年統計調査を実施した。

③ MICE 振興に関わる課題の克服に向けた検討

(ア) 京都市勧業館 MICE 拠点化整備指針策定業務(受託事業)

京都市が実施した「京都市勧業館 MICE 拠点化整備指針策定業務」を受託し、京都会館(現在改築中)との一体的利用を見据え、岡崎地域の MICE 拠点化に向けた調査報告書を取りまとめた。

(イ) けいはんな「学術研究・未来の都」構想推進プロジェクト参画

関西文化学術研究都市の立地施設・地域住民・行政等が協働して、情報、環境(エネルギー)、健康(医療)、農業(食)等に関する国際的イベントの誘致・開催を支援し、世界的な交流と情報発信を行うための推進母体である同プロジェクトプラットフォームに参画し、さらに平成 25 年 2 月 22 日開催の「在関西領事館けいはんな視察ツアー」の運営に協力した。

同プロジェクトの主な構成団体

京都府、地元市町、地元関係機関

京都文化交流コンベンションビューロー

2 国際観光プロモーション事業

(1) 海外情報拠点運営事業

京都市の委託を受け、「京都市海外情報発信・収集拠点」を効率的かつ戦略的に活用し、市場特性に応じたきめの細かい誘致施策を実施した。各拠点の主な事業は以下のとおり。

設置箇所 アメリカ・台湾・韓国・中国・オーストラリア・フランス・イギリス
・ドイツ

(海外情報拠点の主な業務)

- ① 現地で開催される旅行見本市等への出展及び現地旅行会社・メディアに対する京
都観光 PR などの「情報発信事業」
- ② 現地の旅行動向・関心・方向性等を探る「情報収集事業」
- ③ 会員による現地セールスコール時のサポート等
- ④ 月次及び年次報告書の提出、現地市場に関する報告・勉強会等の開催

(2) プロモーション事業

海外情報拠点のアレンジをベースに、会員の協力のもと以下の招請を行った。

- ① 海外旅行会社・メディア招請事業
＜旅行会社＞ 50 社 59 名

- ・アメリカ 富裕層取扱旅行会社（6社6名 京都滞在2012年10月22日～25日）
- ・オーストラリア 富裕層取扱旅行会社（5社5名 京都滞在2013年1月28日～30日）
- ・ベトナム 一般旅行会社（25社34名 京都滞在2012年5月21日～24日）
- ・ベトナム 富裕層取扱旅行会社（5社5名 京都滞在2013年3月18日～21日）
- ・フランス 一般旅行会社（5社5名 京都滞在2013年2月20日～23日）
- ・ツガポール 富裕層取扱旅行会社（4社4名 京都滞在2013年2月25日～26日）

※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取組

<メディア> 41 媒体（海外有カプレス関係者等招請京都委員会としての支援分含む）

- ・マレーシア Star Publications（雑誌）※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取組
- ・マレーシア Astro Prima（テレビ）
- ・台湾 商業週刊、商業週刊別冊（ビジネス雑誌）
- ・香港 U Magazine（週刊誌）
- ・エールフランス航空機内誌
- ・フランス Guide du Petit Fute JAPON（ガイドブック）
- ・フランス A/R（芸術系雑誌）
- ・フランス Dé clic photo（写真専門誌）
- ・フランス France Ô, USHUAÏA（テレビ）
- ・フランス A Vivre（建築系雑誌）
- ・ロシア RBC、Prime Traveller、Voyage、In style（いずれも富裕層向け雑誌）
- ・アメリカ 1000 places to see before you die（ガイドブック）
- ・アメリカ Origin Magazine（富裕層向け雑誌）
- ・アメリカ Caviar Affair Magazine（富裕層向け雑誌）
- ・アメリカ ExpertFlyer blog.、DuJour、TravelSquire、NY Seika、huffingtonpost（ブログ、富裕層向け雑誌等）
- ・スペイン Telecinco（テレビ）
- ・ドイツ Die WELT（日刊紙）
- ・ドイツ Sueddeutsche Zeitung（日刊紙）
- ・イギリス Bonhams Magazine（富裕層向け雑誌）
- ・オーストラリア Sydney Morning Herald（日刊紙）
- ・韓国 The Traveller（旅行雑誌）
- ・韓国 HEREN（富裕層女性向け雑誌）
- ・韓国 ESSEN（料理&スタイル雑誌）
- ・韓国 京都ガイドブック（ガイドブック）
- ・韓国 SBS（テレビ）
- ・タイ Beyond（富裕層向け雑誌）
- ・タイ Spirit of Adventure（テレビ）※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取組
- ・中国 GQ（男性向け雑誌）
- ・中国 生活（富裕層向け雑誌）
- ・中国 三聯生活週刊（週刊誌）

- ・インド Zee Business (テレビ)
- ・シンガポール Chubby Hubby (人気ブログ)
- ・シンガポール Monstrou Studio(テレビ) ※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取組
- ・シンガポール ICON Magazine (富裕層向け雑誌)

※京阪神堺四都市外客誘致実行委員会としての取組

② 旅行博覧会・セミナー等出展事業

- ・オーストラリア 旅行会社セールスコール 2012年8月4日～10日
京都参加事業者1社
- ・中国 富裕層向けセミナー ゲストスピーカー派遣 2012年9月13日
- ・イギリス WTM 2012年11月5日～8日
京都参加事業者2社 (来場者数 29,000)
- ・シンガポール・香港 富裕層取扱旅行セミナー 2012年11月12日～17日
京都参加事業者5社
- ・国内 (横浜) Visit Japan トラベルマート 2012年11月20・21日
京都参加事業者5社 (招待バイヤー277社、出展者312社)
- ・ドイツ ITB 2013年3月6日～10日 京都参加事業者2社

③ ラグジュアリー層向けコンテンツの開発・発信事業

- ・ILTM Asia プレトリップ (京都視察) 2012年6月1日～4日
- ・ILTM Asia 2012年6月4日～7日
京都参加事業者2社 (招待バイヤー440社、出展者450社)
- ・ILTM 2012年12月3日～6日
京都参加事業者3社 (招待バイヤー・出展者とも1,350社)
- ・ILTM Japan 京都 (2013年3月11日～13日) 開催への協力

④ その他

- ・イギリス 富裕層向けOTAとのタイアップによる集中Webプロモーション
- ・アメリカ 旅行会社向けWeb教育プログラム (開発中)
- ・韓国 アウトバウンド商談会2012出展事業
- ・台湾 京都市台湾オフィシャルFacebookキャンペーンの実施

(3) 海外観光客向けウェブサイト運営事業

- ① 海外観光客向け観光ウェブサイト「Kyoto Official Travel Guide」の運営 (英語、ハングル、簡体字、繁体字、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語)

※2012年は合計約270万PV (2011年は170万PV)

- ② 「Facebook」「Twitter」を活用した情報発信

※Facebook ファン数が 2012 年 12 月に 10 万人を突破。記念キャンペーンの京都招待旅行には 1,132 名の応募があった。(招待は 2 月に実施)

(4) プロモーションツール等作成事業

ドイツ語版イメージパンフレット作成 (ドイツ拠点対応)

(5) 外国人観光客向け 24 時間多言語コールセンター運営

宿泊施設に加え、市バス・地下鉄案内所、定期券発売所、駅・市バス営業所の事務所でも対応。2012 年 4 月～2013 年 3 月の利用実績は 232 件。(市バス・地下鉄は 5 月末から)

(6) コンテンツ研究会

海外観光客により満足度の高いサービスを提供することを目的に、伝統工芸等京都の誇るコンテンツに触れる会を原則として月 1 回開催。

2012 年 5 月 7 日	花山天文台<天文台>	(参加者 9 名)
6 月 21 日	日吉屋<和傘>	(参加者 20 名)
7 月 25 日	虎屋<和菓子>	(参加者 21 名)
8 月 29 日	宮井<風呂敷>	(参加者 17 名)
9 月 26 日	松井酒造<日本酒>	(参加者 18 名)
10 月 24 日	京福電気鉄道	(参加者 9 名)
11 月 22 日	丸益西村屋<京友禅>	(参加者 5 名)
2013 年 1 月 29 日	松栄堂<香>	(参加者 20 名)
2 月 26 日	上羽絵惣<日本絵具・胡粉ネイル>	(参加者 9 名)
3 月 26 日	松竹 京都四條南座	(参加者 25 名)

※敬称略

Ⅲ その他の事業（公益目的事業）

1 ホームページの内容充実等

賛助会員等へのサービス強化の観点から、ホームページに「What's NEW」のコーナーを設け、当ビューローからの最新情報や関連行事等のタイムリーな情報の提供に努めた。

2 会報誌「京都文化交流コンベンションビューロー通信“響都”」発行

- ア 仕様：A4版、4頁（オールカラー）
- イ 作成部数：800部（4月のみ900部）
- ウ 発行回数：年4回（4月、7月、10月、1月）
- エ 配付先：賛助会員・関係団体 ほか

3 関係団体との連携等

（1）「京都花灯路」・「京の七夕」への参画

関係団体と連携し、「京都花灯路」や「京の七夕」へ主催者団体や実行委員会の一員として参画し、地元京都の観光振興に取り組んだ。

①嵐山花灯路

平成24年12月8日（土）～17日（月）
来場者数：114万3千人（8回の開催で過去2番目）

②東山花灯路

平成25年3月8日（金）～17日（日）
来場者数：121万5千人（11回の開催で、10日間開催では過去最多）

③京の七夕

平成24年8月4日（土）～13日（月）（今回3回目の開催）
来場者数：73万4千人

（2）時代祭におけるメッセージ発信

「平安建都1300年に向けて」というメッセージを書いた横断幕を持つ行列の先頭役を担った。行進者は賛助会員から募集し、その協力を得た。

IV 共益・収益事業

1 賛助会員制度の運営

(1) 新規勧誘の促進

当ビューローの設立趣旨及び事業等に対する理解者・支援者の拡大を図るため、新たな賛助会員の加入促進に努めた。また、当年度より「京都国際観光客誘致推進協議会」の事業を引き継いだことから、同協議会会員の当ビューロー賛助会員への移行を推進した。

＜賛助会員数の推移＞

年度別	会員数	口数
平成20年度末	264	384
平成21年度末	257	374
平成22年度末	255	367
平成23年度末	244	356
平成24年度末	289	507

(2) 会員に対する情報提供やサービス事業の実施

文化交流発信及びMICE・インバウンド推進に関連する、有効な情報の提供・斡旋・紹介等、また、共同プロモーション事業の実施、各種コンサルティング等会員企業へのサービス事業を実施した。

(3) 「会員の集い」の開催

京都のMICE・インバウンド関連業界の連携を図り、産学公オール京都の力を結集して、MICE及びインバウンドの誘致・誘客・振興の取組がより円滑に実施できるよう、情報交換と会員相互のネットワーク強化を図るため「会員の集い」を開催した。

ア 日 時：平成24年6月18日（月）午後6時～8時

イ 場 所：リーガロイヤルホテル京都「春秋の間」

ウ 参加者：賛助会員 約230名

デスクトップ・ミニ・トレードショー実施 参加賛助会員21社・団体出展

2 「京都文化振興友の会」の運営

京都文化振興友の会会員に対して、京都府・京都市・京都商工会議所及び関係団体が主催する催事等に係る情報を提供した。

会員数：159名（平成25年3月末）

3 京都迎賓館記念品の販売

京都迎賓館参観実施等に併せ、参観記念品を販売した。

(1) 参観実施時

ア 時 期：平成24年8月22日～9月1日

イ 記 念 品：販売客数： 3,242 名 売上点数:6,570 点

①クリアファイル

②京都迎賓館庭園一筆箋

③京都迎賓館写真はがき ④五七桐紋入あぶらとり紙

⑤付箋

⑥京都迎賓館伝統技能 DVD

⑦コースター

⑧ブックカバー

ウ 販 売 高：3,768,500 円

エ 委託販売：「京都迎賓館の冊子」 417冊

(2) 京都迎賓館記念シンポジウム実施時

ア 時 期：平成25年2月10日

イ 記 念 品：販売客数： 104 名 売上点数:192 点

ウ 販 売 高：133,250 円